



▲宜野湾へ向かっていた道 2019(平成31)年
正面の森は大山貝塚

古道を訪ねて
大山から宜野湾へ向かう道

古道を訪ねて
大山から宜野湾へ向かう道

大山貝塚にむけて坂道を行くと普天間飛行場のフェンスに差し当たり、その右側には大山貝塚と大山発祥の聖地「ミスクヤマ」の拝所があります。かつてこの道は、「ジノーンミチ」と呼ばれ、宜野湾村の中心である宜野湾へ向かう道でした。また、戦前の大山の綱引きでは、メンダカリ（前村渠）とクシンダカリ（後村渠）に分かれる境界線の道



▲大山の聖地「ミスクヤマ」拝所 2019(平成31)年

【問合せ】
市立博物館 ☎ 870-9317



お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか？

でもありました。

本来、この道を東へ抜けて宜野湾に向かうと、そこには「ミー・ガッコウ」と呼ばれる宜野湾国民学校（昭和16年以降）があり、大山の子ども達もそこへ通っていました。通学路としてこの道を通る子ども達は、ミスクヤマの前に差し掛かるミスクヤマに向かって一礼して学校へ向かつたそうです。

同じ道でも宜野湾側からは、この大山へ向かう道を「ウヤママミチ」「ガッコウミチ」「ソンドー」と呼んでいました。この道は大山から宜野湾へ抜けるだけではなく、宜野湾を抜けて長田へ向かう道でもありました。いわば、宜野湾の東西横断線の道でした。

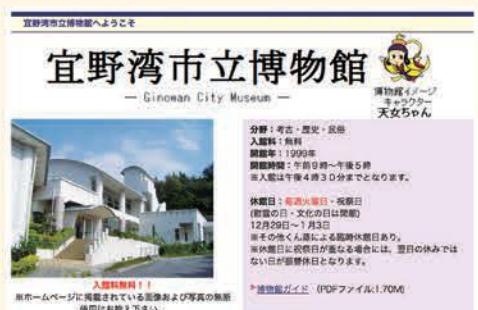
今では普天間飛行場のため、道は途切れていますが、かつてこの道を利用した人びとにとつては、思い出の残る道なのです。

今年も新年度が始まりました。宜野湾市立博物館は、この6月で設立20周年を迎えます。そこで、市民講座や展示などで、この節目を記念する試みを計画しているところです。これらの情報は、随時博物館のHP（ホームページ）で紹介していく予定です。当館のHPでは、このようなイベント情報のほかにも、広報誌やこれまで市報に掲載したコラムなども取り上げています。待ち時間や移動時間などの暇つぶしに、当館のHPを覗いてみてはいかがでしょうか？

時間を持て余したら
博物館のホームページへ

部屋 49

宜野湾市の歴史や文化などを
紹介します。
市立博物館
イメージキャラクター
天女ちゃん



■博物館ホームページ



■メニュー 一覧



◀博物館
ホームページ

【問合せ】
市立博物館 ☎ 870-9317

左下の二次元バーコードをスマートフォンで読み込むと、当館のHPにいきます（左上の画像）。ここから画面を下にスクロールすると、画面左側にメニュー一覧が出てきます（左中央の画像）。主に学芸担当が行っている博物館の取り組みなどは①で紹介しています。企画展や市民講座の情報は、②のメニューから詳細を見ることができます。③の証明書発行については、3月をもつて終了となりました。④では、博物館の市史編集担当が行っている仕事を紹介しています。発刊された市史や報告書、これまで博物館で発行してきた広報誌、市報掲載コラムなどは⑤から各ページに移動できます。ここでは、博物館長が定期的に発行している「森の川自然散歩」なども3月からアップしています。

これからも、HPから発信する博物館や宜野湾市の情報を、楽しくご活用頂ければ幸いです。